

令和7年度 第1回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和7年7月11日（金） 9時00分～12時00分
2. 場 所：アイパル香川（香川国際交流会館） 3階 第5、6会議室
3. 出席者：委員（敬称略）
 - 委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）
 - 副委員長 末永 慶寛（香川大学創造工学部 教授・学部長）
 - 委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）
 - 池田 弘子（(株)人間科学研究所 所長）
 - 福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）
 - 國村 一郎（(一社)香川経済同友会 専務理事）
 - 玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）

（全委員7名出席）

4. 議 事

(1) 事後評価対象計画

下記の5計画について、事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

- ① 社会資本総合整備計画 総合的な浸水対策の推進（防災・安全）緊急対策
[事業主体：香川県]
- ② 社会資本総合整備計画 総合的な土砂災害対策の推進（防災・安全）（重点）
[事業主体：香川県]
- ③ 社会資本総合整備計画 土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）
[事業主体：香川県]
- ④ 社会資本総合整備計画 地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり
（防災・安全） [事業主体：香川県他8市町]
- ⑤ 農山漁村地域整備計画 香川の森林を守り育て活かすプラン（第3期）
[事業主体：香川県他17市町]

(2) 事業別審議結果

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号①②③⑤において、「一定の効果があった」、計画番号④において、「十分な効果があった」と事業主体が評価したこと、また計画番号①～⑤において「継続する」としたことについて「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・ 地域住民を浸水被害から守り、安心して生活できるよう事業を進めていただきたい。（事後評価①）

- ・ 事業で整備した砂防施設の効果が発揮された事例をホームページ等で公表するなど、事業効果が地域住民に伝わるよう考えていただきたい。(事後評価②)
- ・ 下水道は埋設されて見えない部分なので、安全・安心について、技術的な視点の他にも、地域住民の安心感の視点も大切にしてほしい。(事後評価④)
- ・ 上流と下流で、治山事業と砂防事業に役割を分担して実施しているので、それぞれの事業効果の他に、両方で整備することによる安全性の向上等もアピールされてはどうか。(事後評価⑤)

— 以上 —